



心を合わせて 歌いませんか？



横瀬町議会だより

No.84 2009.10.15発行



小学唱歌と童謡を歌う会

〔会員 30名 代表 富田真澄〕

石橋先生のすてきなピアノの音に導かれ、季節の歌を歌っています。忘れかけている日本語の美しさを改めて感じるひととき。心を合わせて、声を合わせて、あなたも一緒にいかがですか？

環境保護のため再生紙を使用しています

- 8月臨時会・9月定例会
- 「定額給付金事業」など
14事業を実施
- 2
- 一般質問
4名が登壇
- 6
- 8
- 知ってください！議会活動
片道2時間、森林下り
武甲山町造林を視察

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は12月の予定です

お問い合わせ 議会事務局 (TEL0494-25-0119) へ

発行：横瀬町議会 編集：議会だより編集委員会

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地

TEL 0494-25-0119

FAX 0494-23-9349

「定額給付金事業」など14事業を実施



厳しい目で決算審査を行ないました

9月定例会では、提出議案22議案を審議し、原案どおり可決しました。
また、8月臨時会では、提出議案4件を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計

行財政改革プランに基づいた 堅実な決算

平成20年度決算の特徴は、アメリカ発の世界的な経済不況から我が国の緊急経済対策として、国民及び各自治体へ地域活性化・生活対策として財源措置が講じられたことです。

「定額給付金事業」等、14事業が年度をまたいで実施となる、過去に類似例のない状況でしたが、行財政改革プランに基づいた堅実な決算となりました。

主な質疑

問 当町の実質公債費比率はどうか。

答 平成20年度は12・6%であり、昨年よりも0・9ポイント減少しています。

25%以上になると借入れが制限される
ことがあります。

問 当町供用開始地域の下水道への加入率はどうか。

答 655世帯(78・6%)です。水洗化率は町全体で75・5%になっています。

問 固定資産税の不納欠損の要因と対応について伺う。

答 雇用情勢の悪化など、さまざまな要因が考えられます。今後、納税相談の実施により納税をお願いしたい。

問 教育費に不用額が多いのはなぜか。

答 また、不用額は他の費目に流用できないか、伺う。

答 工事費の入札残金が大きき要因です。これは、補助金が主な財源のため、目的

平成20年度 決算状況一覧表

区分	一般会計	国民健康保険	老人保健	後期高齢者医療
歳入総額	30億 879万円	9億9,288万円	8,432万円	8,173万円
歳出総額	28億5,211万円	9億4,613万円	8,420万円	8,053万円
歳入歳出差引	1億5,668万円	4,675万円	12万円	120万円
不納欠損額	393万円	126万円	0円	0円
収入未済額	2億6,554万円	5,792万円	0円	249万円

区分	介護保険	下水道	水道事業
歳入総額	5億4,835万円	3億4,906万円	2億2,333万円
歳出総額	5億3,289万円	3億2,365万円	2億2,009万円
歳入歳出差引	1,546万円	2,541万円	324万円
不納欠損額	6万円	0円	—
収入未済額	136円	4,800万円	—

→特別会計 ※(万円未満切り捨て) ※水道事業は収益的収支

特別会計

国民健康保険

収入確保は引き続き厳しい状況
 歳入・歳出ともに前年度を下回りました。経済情勢が多分に不安定な面を抱えていることもあり、自主財源である国民健康保険税の収入確保は、引き続き厳しい状況。
 歳出の大半を占める保険給付費については、さらなる予防医

療の充実により、医療費の節減が求められます。

介護保険

今後予防の徹底を図ることを期待

歳入・歳出ともに前年度を下回る結果となりました。介護認定者の増加及び給付費の増加等を考えると引き続き厳しい状況を相互扶助の趣旨を踏まえ、今後予防の徹底を図ることを期待します。

老人保健

75歳以上の方が後期高齢者医療特別会計へ移行したことにより、前年度より大幅減となりました。

後期高齢者医療

持続可能な制度の構築が急務

高齢者医療費は国民医療費の約3分の1を占めており、今後さらに、高齢者の急増が見込ま



れます。将来にわたり安心して医療が受けられるようにするためにも、持続可能な制度を構築することが緊急の課題です。なお医療受給者は、1、162人でした。

下水道

加入状況、順調に推移

水質管理センターが本格的に稼働を開始し、供用開始区域も拡大したため、歳入歳出ともに大幅増となりました。
 第2供用開始区域までの汚水管への接続率は82・3%と、加入状況も順調に推移しています。

事業会計

水道事業

節減に努力、純利益323万円

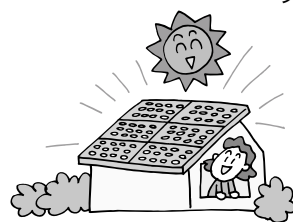
秩父市浦山ダム使用権設定補助金の事務処理が原因で、営業損失が計上されましたが、行財政改革の趣旨を踏まえ、節減に努力した結果、純利益で324万円を計上できました。

老朽石綿セメント管の布設替えは、1・37キロメートル整備し、残り3・67キロメートルになっ

外の流用は無理です。

問 太陽光発電の補助金の利用状況と、何年くらいで電気料金に反映するのかわかるか。

答 平成20年度は4件、平成21年度については、15件とみています。
 電気料金に反映するのは、15年〜20年かかると言われています。



問 有害鳥獣の対策は。

答 猟友会の皆さんに献身的に対応してもらっています。

問 個体調査委託料は、どのようなことで使用したのか。

答 猟友会へ委託し、アライグマ、イノシシ、ニホンジカについて調査しました。

◆平成21年度補正予算に関する質疑◆

問 介護従事者処遇改善特例交付金補正内容は。

答 介護従事者の処遇改善を図るための介護報酬改定に伴う保険料の上昇を抑制するために交付されるものです。

問 後期高齢者保険の廃止についての考えは。

答 関心を持っていますが、まだ分かりません。

提出議案と審議結果

《8月臨時会》

■平成21年度一般会計補正予算

1億4,000万円を増額補正

国の地域活性化・緊急経済対策として、5月29日に国会を通過した予算の補助金・交付金を使った大型補正予算。総員賛成で可決。

(エコカー・学校への地デジ対応テレビの購入・太陽光パネルの設置費等)

■条例の制定

・横瀬町議会の議決すべき事件に関する条例

■条例の一部改正

・横瀬町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例

■契約の締結

・横瀬町学校給食調理場新築工事請負契約

委託先：石川・守屋八潮共同企業体

価格：3億975万円（予定価格より1億円安い）

場所：横瀬小学校裏

工期：8月から平成22年2月26日まで

以上、可決

《9月定例会》

■平成20年度決算

・一般会計ほか6つの会計

以上、認定

■平成21年度補正予算

・一般会計ほか6つの会計

■条例の制定

・横瀬町ペット霊園の設置等に関する条例

■条例の一部改正

・横瀬町税条例

・横瀬町在宅重度心身障害者手当支給条例

埼玉県障害者生活支援事業補助金交付要綱の一部改正に伴う規程の整備

・横瀬町国民健康保険条例

■協定の締結

・ちちぶ定住自立圏形成協定

■契約の締結

・小型動力消防ポンプ付積載車購入契約

以上、可決

■人事

人権擁護委員に町田尚氏・石崎泰子氏
(推薦に同意)

平成21年12月31日で任期満了となるため

横瀬町教育委員会委員に坂本幸子氏
(任命に同意)

平成21年9月30日で任期満了となるため

以上、同意

平成20年度

一般会計・特別会計決算認定についての討論

反対です

多額の不用額で子育て支援をすべき

大野隆雄

衆院選において国民に限りない負担を強い、自治体いじめの自公政権は退場させられました。町財政は必死の行財政改革にもかかわらず国政によって悪影響を受けています。

本決算、町税の不納欠損額、収入未済額の増加は町民負担の限界を示しています。不要な事業の見直しを行ない、多額の不用額で子育て支援をすべきです。国保などの国補助率の改善運動に本腰を入れないとパンクします。これらを考えると反対です。

賛成です

基本政策に沿った堅実な成果

新井勝之

今回の決算は、歳入においては、30億879万6,000円、歳出は28億5,211万1,000円となりました。まちづくりの基本政策に沿った全般的に堅実な結果であると思います。

町より提出された平成20年度の行政報告書も分かりやすく、着実に「開かれた行政運営」がなされたことがうかがえます。また、保険部門の特別会計や下水・水道の会計は、実務が中心ですが、間違いのない運営がなされていると評価します。

問 広域消防・横瀬分署の用地測量委託料があるが、広域のほうで負担すべきではないか。

答 分署の移転は、用地の提供・分筆・登記まで自治体が負担すると規定されています。


◆広域議会に関する質疑◆

問 広域クリーンセンターに関する訴訟は怎么样了のか。

答 全国的にも何件もあり、まだまだ時間がかかる見通しです。

問 有料ごみ袋の価格について伺う。

答 今後、引き下げを検討していきます。



ちちぶ定住自立圏形成協定締結を総員賛成で可決

町の広報9月号で紹介がありました総務省の推進している定住自立圏推進要綱に基づき、定住自立圏形成協定（医療関係2、情報関係2、水道関係1、人材育成関係1の合計6つ）を秩父市と締結することに、総員賛成で可決しました。協定書の内容は以下のとおりです。

1. 生活機能の強化

救急医療体制の充実	圏域内における救急医療体制をさらに充実させるため、需要を調査するとともに、現在の体制を検証した上で、秩父郡市医師会及び医療系大学との連携の強化、医療スタッフのサポート体制の確立などの関連事業を実施。
------------------	---

リハビリテーション体制の確立	圏域内におけるリハビリテーション体制を確立するため、需要を調査・検証した上で、圏域内外の医療機関等と連携し、回復期リハビリテーションを中心とした事業を実施。
-----------------------	--

2. 結びつきやネットワークの強化（デジタルディバイド（情報格差）の解消へ向けたICTインフラの整備）

ちちぶ圏域情報化の推進	デジタルディバイドの解消及び情報ネットワーク化を推進するため、「(仮称)秩父圏域情報化推進計画」を策定。
--------------------	--

地域情報共有システムの構築準備	防災・防犯情報などの提供システムの活用について研究。
------------------------	----------------------------

水道事業運営の見直し	圏域における水道事業の運営の見直し、運営のあり方について検討。
-------------------	---------------------------------

3. 圏域マネジメント能力の強化

人材育成等	職員や関係者の資質及び政策形成能力の向上など、圏域マネジメント能力を強化するため、圏域外から専門家を招き、合同研修などを実施。
--------------	---

今回の協定については、アウトラインでの合意で、具体的な内容等については今後、「定住自立圏共生ビジョン」の策定により、秩父市との協力関係を構築していく方向です。

秩父郡内の小鹿野町・皆野町・長瀬町も5項目から8項目の協定を秩父市と結んでいます。



横瀬町ペット霊園の設置等に関する条例

住環境の保全を目的としたペット霊園の設置・管理に關して必要な事項を規定

施設設置の許可基準として、焼却施設付きのペット霊園の敷地は、住宅・公共施設から30メートル以上離れていること等を規定。（焼却施設のない場合は、100メートル以上）
 なお、この条例の制定により、住民に与える公衆衛生上の不安等を除去し、良好な居住環境及び相隣関係（隣り合った土地の法律関係）を確保することができま

横瀬町国民健康保険条例の一部改正

10月1日の出産から
 出産育児一時金を全国一律
 4万円アップ

健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、少子化対策の充実を図る当面の施策として、出産育児一時金の金額を暫定的に引き上げる必要があるため、38万円から42万円になります。

委員会報告

所管事務調査 総務文教厚生常任委員会

国保の広域化に向けた取り組みが必要

これからの高齢化の進展を見据えて、町財政への負担増が懸念される介護保険及び国民健康保険の現状について調査しました。

特に各保険に係る問題は、介護保険では加入者の増加に伴い、要介護者も増えていることです。国保は、高齢者、低所得者、無職者等が多く、一度にかかる医療費も高額になってきています。そのため今後は、介護予防を積極的に進めること、国保の広域化に向けた取り組みが必要であるとのことでした。

視察報告 産業建設常任委員会

根古屋城址公園遊歩道は自然環境にも配慮

遊歩道のコースに合わせ、歴史民族資料館の学芸員より根古屋城址の東の郭、山頂の郭、西の郭等の遺構について説明を受けながら視察しました。

山頂の郭からの眺めはよく、立木が雑木であったら歴史的価値が上がるものと思われました。

遊歩道の施工は、自然環境に配慮されており、伐採した木も丸太のまま休憩用のベンチとして利用するなど、工夫が施されていました。

一般質問

町政を問う

9月定例会

人材

Q 若い人材の登用を

A 若い世代の登用に努力したい

大野 守議員

問 さきの衆議院議員選において30代、40代の若者が多数当選した。これからの将来のことを考えると当然かもしれない。町も意識して若い世代を抜てきし、育てることほできないか。

答 町長 若い世代の方は勤めの関係もあり、なかなか昼間の会議については承諾を得られません。夜間会議等も視野に入れ、人材の登用を図っていきたくと考えています。

問 ◆教育力の向上を
横瀬町は国の学力調査に

参加している。



答 教育長 クラスを補充する学級支援員が4人になりましたが、より一層充実させていきたくと考えています。

◆大型補正予算の進捗は

問 5月29日、国で決定し、町でも8月4日の臨時議会において1億4、000万円もの補正予算を計上した。緊急経済対策の進捗状況を伺う。

答 副町長 9月に入ってから消防自動車購入など4事業の入札を行いました。今のところ、政権交代による補正

予算の見直しの動きや国の交付決定のおくれなど、国の方向が定まらない状況です。

問 横瀬町の職員は目ざとく、他の自治体より早く補正予算化できた。早く執行できないか。

答 副町長 国の動向を確認し、すぐにでも実行できる準備をしておきたいと思えます。

選挙

Q 期日前投票所、役場以外にも開設を

A 投票所の秘密、公平、秩序保持などを研究していきます

大野隆雄議員

問 期日前投票はどんな理由が多かったのか伺う。

また、町内に何カ所かの期日前投票所の開設や交通手段

のない方への配慮が必要だと考えるがどうか。

答 総務課長 理由としては、学業・仕事・地域行事

旅行などが約95%です。横瀬町の投票率は県内3位で、意識が高く誇りに思えます。

問 期日前投票所の開設には、法律により投票所ごとに選挙人名簿の編成が必要であること、一投票区・一投票所の規定からどこでも投票できるというものではなく、難しいですが今後研究していきます。

◆新型インフルエンザ対策
問 新型インフルエンザ対策はどのようにしているか。

答 健康づくり課長ほか 8月21日、公共施設に消毒剤を設置しました。小・中学校、保育所、学童などでは発生していない状況です。手洗い、うがいの徹底、熱のある子は早目の帰宅など、家庭へも協力を呼びかけています。

また、予防接種について

は、補助率の関係があり、国の方針が決まれば対応していきます。



◆上水道の濁り水対策は

問 上水道の濁り水、合併処理浄化槽の管理への対策について伺う。

答 上下水道課長ほか 川の濁り水は、8月7日、上名栗辺りの1時間当たり120ミリの豪雨が原因でした。今後、情報収集、広報に努め、万全を期します。

合併処理浄化槽については個人の所有物であり、町の関与は難しいですが、業者任せ・個人任せではなく、管理について研究していきます。

町有地

Q 町有地の管理状況は

A 効率的な運用管理を行なう

若林清平議員

問 町有財産の管理は、どのように行なわれているのか。立川や役場庁舎西側の土地等は雑草等に覆われている。また、多くの敷地等に借地部分がある。計画的に買収していく必要があると考える。さらに、都市施設用地として借地した土地は、利用ができない。借地契約を解除すべ

きだと思いが、どうか。

答 まち経営課長 行政財産は、それぞれの目的に最も有効に活用され、効率的な運用管理ができるように行なっています。

役場西側の土地は進入路もなく、利用は難しい状況です。

今後、未利用地の売却や

資産の有効活用等を内容とした具体的な施策を策定して、財産の取得や処分に対しての方向性を明確にしていきたい。また、都市施設用地は利用できないため、解決策を見出し、返還交渉を行なっていくしたいと思います。



役場庁舎西側町有地

◆合併処理浄化槽の設置促進を

問 合併処理浄化槽の設置が鈍化している。年間60基を目標にしているが、平成20年度は45基であった。今年度から3年間にわたりモデル事業の指定を受けたとのことだが、目標達成は可能なのか。

答 上下水道課長 平成21年4月1日現在の対象世帯は、1,544世帯あります。そのうち、当課試算のモデル事業対象世帯は、910世帯です。

モデル事業の対象者には、従来の補助額に3万円の奨励交付金を上乘せし、支給しますが、年間60基の目標達成は難しい状況です。

無料クーポン券については、対象者510名へ8月31日付で送りました。横瀬総合福祉センターにて9月25日(金)・30日(水)、10月8日(木)に実施されます。

◆バス停の新設や移動の検討を

問 路線バスを利用し、町内や市内へ元気に出かけているが、今後、寒い時期や年を重ねてくると、バス停までが遠いので、バス停を新設もしくは、移動することはできないか伺う。

答 まち経営課長 地域乗り合いバスとして、本町には2つの路線がありますが、利用者は減少しています。

今後、総合的観点からデマンド形態等、検討をしたいと思えます。また、バス停の変更も地域事情を考慮し、検討したいと思えます。

検診

Q 無料検診推進事業の進捗状況は

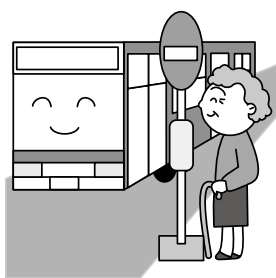
A 国からの無料クーポン券による検診を実施

若林スミ子議員

問 女性特有の乳がん・子宮頸がんの検診促進への取り組みについて、無料検診推進事

業の進捗状況を伺う。

答 健康づくり課長 国の平成21年度補正予算で実施する



知ってください!
議会活動



片道2時間、森林下り

武甲山町造林を視察

実施日：平成21年9月29日(火)
視察先：武甲山町造林
参加者：議員9名、事務局2名、
まち経営課2名

9月29日、武甲鋳業及び菱光石灰工業(株)の協力を得て、町造林を視察しました。町造林は大字横瀬字生川で、総面積54.4ヘクタールです。今回は、昭和39年～43年植林の8番口から始まり、昭和25～26年植林の13番口まで、森林組合による間伐がなされていました。間伐材として需要のない昨今ゆえ、横たわ



るだけの姿を直視しました。空に向かって伸びる10メートル以上もの杉木立の緑は、凜とした静けさとともに心身にいやしを与えてくれる不思議さがありました。

横瀬町に備わっているこの自然の偉大さに感謝しつつ、全員無事に下山しました。



議会だより編集委員会

- 委員長 藤澤 治美 
- 副委員長 若林スミ子 
- 委員 新井 勝之 
- 委員 大野 隆雄 
- 委員 町田勇佐久 
- 委員 大野 守 

町造林の視察は、我々議会議員の一任期中に一度視察するという申し合わせがあります。長い年月をかけて仕上げるものであり、議員もしっかりとそれを受け止めて見守ることが必要だと思います。(M・O)

横瀬町の行事は一足先に進めたいという自負があり、新政権も頑張っていたきたいと願っています。後年になつて平成21年は思い出深いものになつてゐるはずですね。

町にことは、自民党政権が打ち出した大型補正予算が使えるのかどうかによつて影響が出てきます。

編集後記

